SIGMA-ALDRICH®

製品安全データシート

改訂 2012年 08月 21日

整理番号 M2564

［1．化学物質等及び会社情報］

製品名、化学名、別名

ミード酸エタノールアミド
Mead acid ethanolamide
N-(2-Hydroxyethyl)-(Z,Z,Z)-5,8,11-eicosatrienoic Acid

会社情報

会社名 ：シグマ アルドリッチ ジャパン合同会社
住所 ：東京都品川区東品川2-2-24
担当部門 ：コンプライアンスグループ
担当責任者：コンプライアンス担当
ＴＥＬ ：03-5796-7310
ＦＡＸ ：03-5796-7315
緊急連絡先：同上

［2．危険有害性の要約］

GHS分類

引火性液体:区分2
眼に対する重篤な損傷/眼刺激性:区分2A
生殖細胞変異原性:区分1B
生殖毒性:区分1A
特定標的臓器/全身毒性(単回暴露):区分3(気道刺激性、麻酔作用)
特定標的臓器/全身毒性(反復暴露):区分1(肝臓)
特定標的臓器/全身毒性(反復暴露):区分2(神経)

GHSラベル要素

◇絵表示又はシンボル…

◇注意喚起語…

危険

◇危険有害性情報…

引火性の高い液体および蒸気
強い眼刺激
(気道刺激性) 気道への刺激のおそれ／(麻酔作用) 眠気またはめまいのおそれ
遺伝性疾患のおそれ
生殖能または胎児への悪影響のおそれ
長期または反復暴露による臓器の障害(肝臓)
長期または反復暴露による臓器の障害のおそれ(神経)

◇取扱注意…

使用前に取扱説明書を入手すること。
全ての安全注意を読み理解するまで取扱わないこと。
熱/火花/裸火/高温の物のような着火源から遠ざけること。－禁煙。
(製品が危険有害な気体を発生させるような揮発性であり、静電気に敏感な物質を積みなおす場合は)容器および受器を接地すること/アースをとること。
防爆型の電気機器/換気装置/照明機器等を使用すること。
火花を発生させない工具を使用すること。
静電気放電に対する予防措置を講ずること。
粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。
取扱い後はよく手を洗うこと。
この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。
屋外または換気の良い場所でのみ使用すること。
保護手袋/保護眼鏡/保護面を着用すること。
皮膚(または毛)に付着した場合：直ちに、汚染された衣類をすべて脱ぐこと/取り除くこと。皮膚を流水/シャワーで洗うこと。
吸入した場合：被災者を新鮮な空気のある場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
暴露または暴露の懸念がある場合、眼の刺激が続く場合：医師の診断/手当てを受けること。
火災の場合：(水がリスクを増大させる場合は)MSDSまたは消防法で指定する適当な消火手段を使用すること。
容器を密閉して換気の良いところで保管すること。
内容物/容器は国又は自治体の規則に従って廃棄すること。

[3. 組成及び成分情報]

成分情報

混合物
ミード酸エタノールアミド、1.0%
エタノール、99.0%

化学式又は構造式

◇分子式…C22H39NO2

官報公示整理番号

◇化審法… (2) -202 (エタノール)

CAS No.

169232-04-6

追加情報

エタノール (CAS No. 64-17-5) を含む。

[4. 応急措置]

1. 飲み込んだ場合、意識のある時は水で口をすすぐ。医師の診察を受ける。
2. 吸入した場合、空気が新鮮な場所へ移す。呼吸がない場合、人工呼吸をほどこす。呼吸困難の場合、酸素を与える。
3. 皮膚に付着した場合、直ちに石鹸と大量の水で洗う。
4. 眼に入った場合、少なくとも15分間大量の水で洗い流す。指でまぶたを開いて確実に十分洗い流す。医師の診察を受ける。

[5. 火災時の措置]

消火剤

二酸化炭素、粉末または泡消火剤。

消火時における特殊な措置および注意事項

皮膚と眼への付着を防止するため、自給式呼吸器および保護衣を着用する。

異常な火災および爆発の危険性

1. 引火性の液体である。
2. 蒸気は発火源まで到達して引火する可能性がある。
3. 火災に暴露された容器を冷却するため、水噴霧を使用する。

[6. 漏出時の措置]

1. 汚染場所から退避する。
2. 全ての発火源から遮断する。
3. 自給式呼吸器、ゴム長靴および厚手のゴム手袋を着用する。
4. 石灰、砂またはソーダ灰に吸着させ回収した後、防爆用器具を用いて遮蔽容器に入れ、戸外へ移す。
5. 換気を行い、完全に回収後、漏出した場所を洗浄する。

[7. 取扱い及び保管上の注意]

取扱い

暴露防止及び保護措置を参照。

貯蔵

1. 厳重に密閉して保管する。
2. 熱源、火花、裸火から離して保管する。
3. -20℃で貯蔵する。
4. 窒素下で取扱い、貯蔵する。
5. 空気および光を避けて保管する。

[8. 暴露防止及び保護措置]

◇安全管理上の留意事項…

1. 全身用シャワーおよび洗眼器を備える。
2. 化学フューム用の排気フード内でのみ使用する。
3. 蒸気を吸入しない。
4. 眼、皮膚、衣服へ付着させない。
5. 長時間または反復の暴露を避ける。
6. 呼吸用保護具を着用する。
7. 化学薬品耐久性手袋を着用する。
8. 安全ゴーグルを着用する。
9. 化学薬品耐久性エプロンを着用する。

8. 取り扱い後に完全に洗浄する。

許容濃度

ACGIH TWA 1000ppm(1880mg/m3)(1996) (エタノール)

[9. 物理的及び化学的性質]

外観等

無色透明の液体

引火点

14℃ (クローズドカップ法)

[10. 安定性及び反応性]

◇安定性…

通常の取り扱い条件では安定。

◇避けるべき条件…

1. 空気に反応する。
2. 光に反応する。
3. 湿気を防ぐ。

◇混合及び接触危険性…

酸素、酸、酸塩化物、酸無水物、アルカリ金属、アンモニア、酸化剤、過酸化物

◇危険有害な分解生成物…

一酸化炭素、二酸化炭素、窒素酸化物

◇有害な重合化…

起こらないと思われる。

[11. 有害性情報]

急性毒性

1. 皮膚に触れた場合、皮膚の炎症をおこす。
2. 皮膚から吸収された場合、有害となる可能性がある。
3. 眼に入った場合、眼の炎症をおこす。
4. 粘膜および上気道を刺激する。
5. 吸入した場合、有害となる可能性がある。
6. 飲み込んだ場合、有害となる可能性がある。
7. 標的臓器:神経、肝臓、心臓
8. 中枢神経系を抑制することがある。
9. 暴露により、昏迷作用、悪心、頭痛および嘔吐、心臓への損傷をおこすことがある。
10. 化学的、物理的および毒性学的性質の研究は不十分と考えられる。

慢性毒性

この製品は、IARC、ACGIH、NTPまたはEPA分類に基づく発がん性物質に分類できない成分である、またはその成分を含有する。

[12. 環境影響情報]

適当なデータが見あたらない。

[13. 廃棄上の注意]

1. 専門の廃棄物処理業者に処理を依頼する。
2. アフターバーナーとスクラバーが備えられた化学焼却炉で焼却するが、この物質は引火性が高いので点火には特に注意をはらう。
3. 環境保護に関する地域の法的規則に従い、処分する。

[14. 輸送上の注意]

国連分類及び国連番号

1170 クラス3

[15. 適用法令]

◇消防法…

危険物第4類アルコール類

◇労働安全衛生法…

法57-2 (令18-2) 名称等を通知すべき危険物及び有害物

No. 061

[16. その他の情報]

参考文献、参考資料

Sigma-Aldrich Material Safety Data Sheet on CD-ROM
「化学品安全管理データブック 増補改訂第2版」化学工業日報社
「13700の化学商品」化学工業日報社
「化学物質等法規制便覧」化学工業日報社

「危険物関係法令 チェックリスト解説」第一法規出版株式会社
「日化協監修 化学品かんたん法規制チェック」日本ケミカルデータベース株式会社

本SDSは自社SDSデータベース並びに各種の出版されている情報、文献などに基づいて作成されていますが、すべての情報を網羅しているわけではありません。従って、本情報は化学物質の安全性の指標としてのみご使用ください。また、本SDSの記載内容は情報提供を目的としており、当該化学物質の取り扱い上のいかなる保証をなすものではありません。